

## 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名	ポリマーウォーター
会社名	株式会社ジャパンエンジニアリング
住所	大阪府茨木市島3丁目3番16号
電話番号	072-630-6955
FAX番号	072-630-6956
担当部門	ケミカル事業部
作成日	2007年10月31日
改訂日	2021年12月27日

## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

急性毒性(経口)	[区分] 区分に該当しない (区分外)
急性毒性(経皮)	区分に該当しない (区分外)
急性毒性(吸入: 気体)	区分に該当しない (区分外)
急性毒性(吸入: 蒸気)	区分に該当しない (区分外)
急性毒性(吸入: 粉塵・ミスト)	区分に該当しない (区分外)
皮膚腐食性/刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
水生環境有害性 短期(急性)	区分3

GHSラベル要素

絵表示:

注意喚起語:  
危険有害性情報:危険  
皮膚刺激  
重篤な眼の損傷  
水生生物に有害

注意書き:

安全対策 環境への放出を避けること。  
取扱い後は手、顔などをよく洗うこと。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
保護手袋を着用すること。  
保護眼鏡を着用すること。  
保護衣を着用すること。

応急措置 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。  
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。  
特別な処置が必要である。  
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断, 手当てを受けること。  
汚染された衣類を脱ぎ, 再使用する場合には洗濯をすること。

保管 屋内の涼所に場所を定めて保管すること。  
廃棄 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:  
成分及び濃度又は濃度範囲

混合物

成分名称	含有量 wt. %	CAS RN	安衛法	化管法	毒劇法
			通知物質	指定物質	毒物劇物
両性イオン系界面活性剤	---	社外秘	---	---	---
非イオン系界面活性剤	---	社外秘	---	---	---
特殊シリコンオイル	---	社外秘	---	---	---
多価アルコール	---	社外秘	---	---	---
グリコールエーテル	---	社外秘	---	---	---
防腐剤	---	社外秘	---	---	---
純水	---	7732-18-5	非該当	非該当	非該当

## 4. 応急措置

吸入した場合:  
皮膚に付着した場合:直ちに医師に連絡すること。  
直ちに医師に連絡すること。  
汚染された衣類を脱ぎ, 再使用する場合には洗濯をすること。  
水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼に入った場合:

直ちに医師に連絡すること。  
直ちに医師に連絡すること。  
第8項、「ばく露防止及び保護措置」に記載の保護具を着用すること。  
ガス, 蒸気, ミスト, 粉じんなどが存在する場合は、換気を行うこと。

飲み込んだ場合:

応急措置をする者の保護に必要な注意事項:

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤： 使ってはならない消火剤：	この製品自体には燃焼性はない。 情報なし 情報なし
火災時の特有の危険有害性： 消火を行う者の保護	情報なし 情報なし

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置：	作業の際には「第8項. ばく露防止及び保護措置」で規定する保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスや粉じん、ヒュームの吸入を避けること。 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外近づけないようにして二次災害を防止すること。
環境に対する注意事項：	屋内の場合、換気をよくして、ガス、蒸気、ミスト、粉塵などの吸入を避けること。□ 屋外の場合、風上から作業し、風下の人を待避させること。
封じ込め及び	やむを得ない場合を除いて、環境への放出を避けること。 排水処理設備を有する場合は、排水処理の責任者に連絡して漏出した製品を多量に含む排水が環境中へ排出されない様に対策を講じること。
二次災害の防止策：	水生生物に悪影響を与えることがあるので、漏出物は下水、水路等に流れ出さない様に回漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移すこと。□ 付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置すること。 少量の場合は、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸収させ取り除いた後、残りをウエス、ぞうきん等でよく拭き取る。 大量の場合は、土砂等で囲って流出を防止し、スコップ又は吸引器などで空容器に回収する。 回収した製品は密閉できる容器に回収する。 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外近づけないようにして二次災害を防止すること。□ 関係部署（安全・衛生・環境・防災等）に連絡し、適切な対策を講じること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策：	取扱い後は手、顔などをよく洗うこと。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行う為の設備を設置すること。□ 容器を転倒、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしないこと。□ 取扱いに際しては、「第8項. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策（排気、換気）を行い、保護具を着用する等のばく露防止対策を講じること。 作業場の換気を十分に行うこと。
	局所排気・全体換気：	取扱いに際しては、「第8項. ばく露防止及び保護措置」に記載の換気設備対策を行うこと。
	安全取扱注意事項：	皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、眼に入らないような設備とするか、保護具の着用によりばく露しないように注意すること。 取扱い後、付着があれば手、顔等を洗うこと。□ 取扱い後は手、顔などをよく洗うこと。
	接触回避：	10. 安定性及び反応性の混触危険物質を参照すること。
保管	安全な保管条件： 安全な容器包装材料：	屋内の涼所に場所を定めて保管すること。 製品容器又はそれに代わる十分な強度を有する容器を使用すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策等：	許容濃度が設定されている成分を含むので、換気設備を設けるなどして、十分な換気を行い、許容濃度以下に保つようすること。 作業場の近くには手洗い、洗顔の設備を設け、取扱い後には手、顔を洗うようすること。
--------	--

## 管理濃度および許容濃度

成分名称	厚生労働 省労働安 全衛生法 作業環境 管理濃度	日本産業 衛生学会 許容濃度	ACGIH	
			TWA	STEL/C
両性イオン系界面活性剤	---	---	---	---
非イオン系界面活性剤	---	10ppm 25mg/m	10ppm	15ppm
特殊シリコンオイル	---	---	---	---
多価アルコール	---	---	---	---
グリコールエーテル	---	---	---	---
防錆剤	---	---	---	---
純水	---	---	---	---

## 保護具

呼吸用保護具：	適切な呼吸用のマスクを着用すること。
手の保護具：	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 薬剤を透過，浸透しない適切な材質の保護手袋を着用すること。
眼、顔面の保護具：	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 適切な保護眼鏡を着用すること。□ 必要に応じゴーグル形や保護面を使用すること。
皮膚及び身体の保護具：	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 皮膚を直接ばく露させない様な適切な保護衣を着用すること。□ 薬剤が浸透しない材質のものが望ましい。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 製品

外観 物理的状態：	液体
色：	微白色～淡黄色
臭い：	ほぼ無臭
融点／凝固点：	データなし
沸点又は初留点 及び沸点範囲：	データなし
可燃性：	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／ 可燃限界：	データなし
引火点：	無し
自然発火点：	データなし
分解温度：	データなし
pH：	約7.1 (原液、25℃)
動粘度率：	データなし
溶解度：	水：可溶
n-オクタノール／水 分配係数(log値)：	データなし
蒸気圧：	データなし
比重 (密度 g/cm <sup>3</sup> )：	約1.01 (25℃)
相対ガス密度：	データなし
粒子特性：	データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性：	情報なし
化学的安定性：	通常の手扱い条件においては安定。
危険有害反応可能性：	情報なし
避けるべき条件：	情報なし
混触危険物質：	情報なし
危険有害な分解生成物：	情報なし

## 1 1. 有害性情報

## 製品

急性毒性（経口）：	区分に該当しない（区分外）
急性毒性（経皮）：	区分に該当しない（区分外）
急性毒性（吸入）：	区分に該当しない（区分外）（気体） <input type="checkbox"/> 区分に該当しない（区分外）（蒸気） <input type="checkbox"/> 区分に該当しない（区分外）（粉塵・ミスト）
皮膚腐食性／刺激性：	区分2 <input type="checkbox"/>
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：	区分1
呼吸器感作性：	分類できない <input type="checkbox"/>
皮膚感作性：	分類できない <input type="checkbox"/>
生殖細胞変異原性：	分類できない
発がん性：	分類できない
生殖毒性：	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)：	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)：	分類できない
誤えん有害性：	分類できない
その他の情報：	データなし。

## 成分

## 両性イオン系界面活性剤

急性毒性（経口）：	区分に該当しない（区分外） <input type="checkbox"/> LD50:> 2000 mg/kg[ラット]
急性毒性（経皮）：	分類できない
急性毒性（吸入）：	区分に該当しない（分類対象外）（気体） <input type="checkbox"/> 分類できない（蒸気） <input type="checkbox"/> 分類できない（粉塵・ミスト）
皮膚腐食性／刺激性：	区分2 <input type="checkbox"/>
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：	区分1
呼吸器感作性：	分類できない <input type="checkbox"/>
皮膚感作性：	分類できない <input type="checkbox"/>
生殖細胞変異原性：	分類できない
発がん性：	分類できない
生殖毒性：	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)：	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)：	分類できない
誤えん有害性：	分類できない

## 非イオン系界面活性剤

急性毒性（経口）：	区分に該当しない（区分外） <input type="checkbox"/> LD50: 3310~3530 mg/kg[ラット]
急性毒性（経皮）：	区分4 <input type="checkbox"/> LD50: 1060 mg/kg[ウサギ]
急性毒性（吸入）：	区分に該当しない（分類対象外）（気体） <input type="checkbox"/> 分類できない（蒸気） <input type="checkbox"/> LCLo: 16000 ppm[ラット], <input type="checkbox"/>
皮膚腐食性／刺激性：	区分1 <input type="checkbox"/> Severe [ウサギ] <input type="checkbox"/> 動物への影響：ウサギあるいはモルモットを用いた試験(PATY(5th, 2001)、ACGIH(2004))において、刺激性の程度はばく露の濃度と時間に依存し、特に50~80%以上の濃度では重度の熱傷と痂皮形成が観察されている。かつ、EU分類ではC;R35であることから、区分1とした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：	区分1 <input type="checkbox"/> Severe [ウサギ] <input type="checkbox"/> 人への影響：ヒトで誤って眼に入れてしまった後直ちに洗浄したにも拘らず角膜混濁や虹彩炎を起こし、上皮の再生に何ヶ月も要し特に角膜混濁は永続的であったとの症例報告(PATY(5th, 2001))がある。、動物への影響：ウサギ眼に氷酢酸を適用直後に破壊的損傷を生じた(ACGIH(2004))と、別の試験で10%以上の濃度で永続的角膜損傷を伴う重度の刺激性を示した(IUCLID(2000))。以上のことより区分1とした。

## ポリマーウォーター/株式会社ジャパンエンジニアリング

呼吸器感作性：	分類できない□ 人への影響：酢酸による惹起に陽性反応を示した気管支喘息の患者や、アルコールまたは酢酸にばく露されI型過敏性反応類似の反応を呈したヒトが報告されている(PATY (5th, 2001))。またエタノールにアナフィラキシー反応と酢酸に即時型アレルギーを示したとの報告もある(HSDB (2005))。しかし、以上の報告は極めて稀な症例であり、またその他にヒトに対しての報告や動物による試験報告などはなくデータ不足のため分類できない。
皮膚感作性：	分類できない□ 人への影響：データなし。
生殖細胞変異原性：	分類できない□ 症状:分類できない。in vivoの試験結果がないので分類できないとした。in vitro 変異原性試験ではエームス試験およびCHO細胞を用いた染色体異常試験でいずれも陰性の結果(PATY (5th, 2001))が報告されている。
発がん性：	分類できない□ 所見(症状) 酢酸・無水酢酸生産工場の大規模な疫学調査(PATY (5th, 2001))が実施され、労働者1359人のコホートで癌による死亡を評価の結果、前立腺がんでの増加(6例)を除き全ての癌による死亡が減少した。前立腺がんによる死亡の解釈は困難と結論されている(PATY (5th, 2001))が、いずれにしてもデータ不足のため分類できない。
生殖毒性：	分類できない□ 所見(症状) ラットを用い出産から18日齢までばく露した試験(PATY (5th, 2001))およびマウスの器官形成期に経口投与した試験(HSDB (2005))授乳影響あるいは仔の発生に対する悪影響の記載はない。しかし、交配前からのばく露による親動物の性機能および生殖能に及ぼす影響に関してはデータがないので分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)：	区分1(血液,呼吸器系)□ ヒトで氷酢酸または大量の酢酸を摂取後、播種性血管内凝固障害、重度の溶血、虚血性腎不全を起こした症例報告が複数あり(PATY (5th, 2001)、ACGIH (2004))、区分1(血液)とした。また、ヒトで吸入暴露による鼻、上気道、肺に対する刺激性の記載(PATY (5th, 2001))、「ヒトが蒸気を吸入すると気道腐食性、肺水腫が見られることがある」との記述(ICSC(J) (1997))があり、実際に石油化学工場での事故によるばく露で気道閉塞と間質性肺炎を発症した報告(ACGIH (2004))があるので区分1(呼吸器系)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)：	分類できない□ 職業ばく露により、労働者が胸焼けや便秘などの消化器症状の訴え(PATY (5th, 2001))、また、女性労働者117人の横断研究においてばく露を受けた労働者が対照に比べ慢性咳嗽、胸部ひっ迫、鼻カタル、副鼻腔炎の有病率が有意に高かったとの報告(ACGIH (2004))もあるが、いずれもデータ不足で分類できない。、ラットに3%の被験物質を6ヶ月間胃内投与した試験で食道粘膜の慢性炎症がみられた(PATY (5th, 2001))が、データ不足で分類できない。
誤えん有害性：	分類できない□ 人への影響：データなし。
特殊シリコンオイル	
多価アルコール	
グリコールエーテル	
急性毒性（経口）：	LD50:> 5 g/kg[ラット]
急性毒性（経口）：	LD50: 22 g/kg[ラット]
急性毒性（経皮）：	LD50:> 20 g/kg[ウサギ]
急性毒性（経口）：	区分に該当しない（区分外）□ LD50: 4000 mg/kg[ラット]
急性毒性（経皮）：	区分に該当しない（区分外）□ LD50:> 2000 mg/kg[ラット],□ LD50:> 2000 mg/kg[ウサギ]
急性毒性（吸入）：	区分に該当しない（分類対象外）（気体）□ 分類できない（蒸気）□ LC50: 42.1 ppm[ラット]□ 分類できない（粉塵・ミスト）□ 動物への影響：データなし。
皮膚腐食性／刺激性：	区分に該当しない（区分外）□ None [ウサギ]□ 動物への影響：ウサギを用いた皮膚刺激性試験で「刺激性なし」(SIDS(2005))との結果があることから、区分外とした。

## ポリマーウォーター/株式会社ジャパンエンジニアリング

	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：	区分に該当しない(区分外) <input type="checkbox"/> None [ウサギ] <input type="checkbox"/> 動物への影響：ウサギを用いた眼刺激性試験で「刺激性なし」(SIDS(2005))との結果があることから、区分外とした。
	呼吸器感作性：	分類できない <input type="checkbox"/> 人への影響：データ不足のため分類できない。
	皮膚感作性：	区分に該当しない(区分外) <input type="checkbox"/> 動物への影響：SIDS (2005)には、モルモットを用いたビューラー法(OECD TG 406準拠)で陰性との報告があり、試験群の動物数(20匹)や被験物質の適用方法等がOECDガイドラインを満たした試験であることから、区分外とした。
	生殖細胞変異原性：	分類できない <input type="checkbox"/> 症状:分類できない。分類ガイダンスの改訂により「区分外」が選択できなくなったため、「分類できない」とした。すなわち、in vivoでは、マウス骨髄細胞の小核試験で陰性である(IUCLID(2000))。in vitroでは、細菌の復帰突然変異試験、哺乳類培養細胞の遺伝子突然変異試験で陰性(IUCLID (2000))、哺乳類培養細胞の染色体異常試験で陰性、陽性の結果が存在する(IUCLID (2000))。しかし、SIDS (2005)では、本物質を含む一連のポリエチレングリコールエーテルにin vivoの遺伝毒性を示す証拠はないとしている。
	発がん性：	分類できない <input type="checkbox"/> 所見(症状) 本物質の発がん試験データはないため分類できないとした。
	生殖毒性：	分類できない <input type="checkbox"/> 所見(症状) データ不足のため分類できない。ラットを用いた経皮ばく露による発生毒性試験で発生毒性はみられていない(SIDS (2005)、PATY (6th, 2012))。しかし、他の情報が得られていないためデータ不足のため分類できないとした。
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)：	分類できない <input type="checkbox"/> データ不足のため分類できない。
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)：	区分2(呼吸器,肝臓) <input type="checkbox"/> ラットの経口投与では区分2までのガイダンス値の範囲内の用量では毒性所見は認められなかった(SIDS(2005))。しかし、本物質のエアロゾルをラットに2週間吸入ばく露した試験では、区分2のガイダンス値範囲の濃度(90日換算:0.09 mg/L)で鼻腔上皮 の変化(過形成、扁平上皮化生等)に加えて肝細胞の腫大が見られており(SIDS(2005))、標的臓器は呼吸器、肝臓と考えられた。以上より、区分2(呼吸器、肝臓)とした。
	誤えん有害性：	分類できない <input type="checkbox"/> 人への影響：データ不足のため分類できない。
防腐剤	急性毒性(経口)：	区分4
	急性毒性(経皮)：	分類できない
	急性毒性(吸入)：	区分に該当しない(分類対象外)(気体) <input type="checkbox"/> 分類できない(蒸気) <input type="checkbox"/> 分類できない(粉塵・ミスト)
	皮膚腐食性/刺激性：	区分1 <input type="checkbox"/>
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：	区分1
	呼吸器感作性：	分類できない <input type="checkbox"/>
	皮膚感作性：	区分1 <input type="checkbox"/>
	生殖細胞変異原性：	分類できない
	発がん性：	分類できない
	生殖毒性：	分類できない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)：	分類できない
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)：	分類できない
	誤えん有害性：	分類できない
純水	急性毒性(経口)：	区分に該当しない(区分外)
	急性毒性(経皮)：	区分に該当しない(区分外)
	急性毒性(吸入)：	区分に該当しない(区分外)(気体) <input type="checkbox"/> 区分に該当しない(区分外)(蒸気) <input type="checkbox"/> 区分に該当しない(区分外)(粉塵・ミスト)
	皮膚腐食性/刺激性：	分類できない <input type="checkbox"/>
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：	分類できない
	呼吸器感作性：	分類できない <input type="checkbox"/>
	皮膚感作性：	分類できない <input type="checkbox"/>
	生殖細胞変異原性：	分類できない
	発がん性：	分類できない
	生殖毒性：	分類できない

特定標的臓器毒性(単回ばく露) :	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露) :	分類できない
誤えん有害性 :	分類できない

## 1 2. 環境影響情報

### 製品

生態毒性	
急性毒性 :	区分3
慢性毒性 :	分類できない
残留性・分解性 :	情報なし
生体蓄積性 :	情報なし
土壤中の移動性 :	情報なし
オゾン層への有害性 :	分類できない
他の有害影響 :	情報なし

### 成分

#### 両性イオン系界面活性剤

生態毒性	
急性毒性 :	区分2
魚類 :	96hrLC50: 1~10 mg/L[ゼブラフィッシュ]
慢性毒性 :	分類できない
オゾン層への有害性 :	分類できない

#### 非イオン系界面活性剤

生態毒性	
急性毒性 :	区分3
魚類 :	データなし。 , 96hLC50: 75 mg/L[ブルーギル], 96hLC50: 79 mg/L[ファットヘッドミノー]
甲殻類 :	48hrEC50: 65 mg/L[オオミジンコ]
藻類 :	データなし。
慢性毒性 :	区分に該当しない (区分外)
魚類 :	データなし。
甲殻類 :	データなし。
藻類 :	データなし。
残留性・分解性 :	急速分解性あり。
生体蓄積性 :	生物蓄積性低い。
土壤中の移動性 :	データなし。
オゾン層への有害性 :	分類できない

#### 特殊シリコンオイル

生態毒性	
急性毒性 :	分類できない
慢性毒性 :	分類できない
オゾン層への有害性 :	分類できない

#### 多価アルコール

生態毒性	
急性毒性 :	データなし。
慢性毒性 :	データなし。

#### グリコールエーテル

生態毒性	
急性毒性 :	区分に該当しない (区分外)
魚類 :	96hrLC50: 841 mg/L[ゼブラフィッシュ]
甲殻類 :	48hrLC50: > 1000 mg/L[オオミジンコ]
藻類 :	72hrErC50: 556.4 mg/L[緑藻]
慢性毒性 :	区分に該当しない (区分外)
魚類 :	データなし。
甲殻類 :	データなし。
藻類 :	データなし。
残留性・分解性 :	データなし。
生体蓄積性 :	データなし。
土壤中の移動性 :	データなし。
オゾン層への有害性 :	分類できない

#### 防錆剤

生態毒性	
急性毒性 :	区分2
慢性毒性 :	分類できない
オゾン層への有害性 :	分類できない

#### 純水

生態毒性	
急性毒性 :	分類できない
慢性毒性 :	分類できない

オゾン層への有害性：

分類できない

### 13. 廃棄上の注意

廃棄方法：

内容物や容器等の廃棄物は、許可を受けた廃棄物処理業者に委託して処理すること。

排水処理、焼却処理などにより生じた残渣物などについても、廃棄物の処理と清掃に関する法律及び関連法令に準じて処理を行うか、委託すること。

廃棄処理を委託処理する際は、許可を受けた廃棄物処分業者と委託契約を結びマニフェストを添付して依頼すること。

リサイクル容器は内部に何も入れず、栓をしてそのまま返却すること。

### 14. 輸送上の注意

国連勧告：

国連分類： 非該当

海洋汚染物質：

非該当

国内規制がある場合の規制情報：

容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。□

「第7項、取扱い及び保管上の注意」の記載に従うこと。□

消防法、毒劇法、火薬類取締法、高圧ガス保安法等に該当する場合には、それぞれの法令に定められた方法に従うこと。□

本製品は原則として日本国内向けであり、船舶または航空機による輸送は想定されておりません。□

船舶または航空機による輸送が必要になった場合には、別途お問い合わせ下さい。

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策：

陸上輸送：道路法令の通行禁止・制限に関する規定を遵守すること。

海上輸送：船舶安全法の定める所に従うこと。

航空輸送：航空法の定める所に従うこと。

### 15. 適用法令

消防法：

非該当

毒物及び劇物取締法：

非該当

労働安全衛生法：

非該当

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）：

非該当

※含有量は3項記載

### 16. その他の情報

注意事項：

本データシートは作成時点の当社の知見に基づき危険有害性伝達の目的で作成しており、製品規格や物理化学的性質の値、危険・有害性の完全性・正確性を保証するものではありません。□

取扱注意事項等は通常の実験を対象としており、特別な取扱いや他の物質との混合を行う場合等には、別途状況に応じた安全対策を講じて下さい。□

全ての化学品には未知の危険・有害性があり得るため、取扱いには細心の注意を払い、ご使用各位の責任に於いて安全な使用条件を設定の上でご使用下さるようお願い申し上げます。□

本データシートは、日本国内法令・JIS・日本化学工業協会のSDS作成指針に従って作成しており、日本国外での使用や輸送を想定したものではありませんのでご注意ください。□

第2項に記載していないGHS分類（危険有害性）は、「分類対象外」又は「分類できない」に該当致します。

参考文献等：

GHS分類結果データベース 独立行政法人 製品評価技術基盤機構HP□

GHSモデルSDS情報 中央労働災害防止協会HP□

J-GLOBAL HP□

LOLI Database (UL Verification Services Inc.) □

原料メーカー発行SDS